

## 新たな税と日本の将来

磐田市立豊岡中学校

3年 渡邊 華音

二〇二二年九月二十四日、外から窓を叩きつけるような暴風雨の音が聞こえる中、テレビでは、私が住む豊岡地区が放送されていました。ですが、私はテレビに映る光景がいつもの慣れ親しんだ地域とは信じられませんでした。そこに映っていたのは、普段の穏やかな面影がない荒れ狂った敷地川だったからです。私は本当に大きな衝撃を受けました。

この大雨で豊岡地区は、それまでと大きく姿を変えてしまいました。特に、敷地川は大雨の影響で上流の倒木が川に流れ込み、水路の障害となった結果、決壊してしまいました。周辺地域は、家屋の侵水や橋の倒壊などの甚大な被害を受けました。さらにその翌年も豊岡地区は大雨による大きな被害を受けました。

それから月日が経ち、現在は復興作業が進められています。皆さんは、地域復興の資金がどう成り立っているか知っていますか。実はこの資金には、私達の税が使われているのです。加えて、壊れてしまった橋の再建築にも、税が活用されているそうです。私は、今まで税の恩恵を実感せずに、生活をしていました。しかし、もしも税の存在がなかったら私は二度と、災害前の豊岡を見ることができなくなっていたと思います。ここから税に興味を持った私は、税について調べてみることにしました。

早速、検索してみると今年度から新たに導入された、「森林環境税」に関する記事を発見しました。この税は、日本の森林を守ったり、地球温暖化の防止をしたりすることを目的として、森林整備や林業への人材育成などに活用されます。私はこの森林環境税が、今後の豊岡地区、そして日本において重要な役割を担うものなのではないかと考えました。前述の通り、敷地川の決壊の要因の一つに、倒木がありました。私の住む豊岡地区はとても自然が豊かな地ですが、森林整備をする人が足りず、放置されて荒れた森林が多く存在します。そんな中、大雨が降ったことで朽ちた木が折れてしまい、川に流れ込んだことで大きな被害につながってしまいました。ここで森林環境税の出番です。この税が機能すれば、もし、また豊岡地区で大雨が降ったとしても、被害は過去二回のものよりも格段に小さいものになります。また、豊岡地区に留まらず、この税を国内で広く活用していけば、地球温暖化の防止や、水質改善などにもつながります。新たに取り入れられたこの税への期待は高まるばかりですね。

税は、もちろん良い面だけを持っているわけではありません。税は国民にとって、時として負担となります。私は、今後も森林環境税のような新たな税が導入されていくと考えます。ですが、私も実感したように、税は必ず私達の身の周りの生活を支えています。そんな身近な存在だからこそ、税の使い方や意味を理解した上で、きちんと税を納めることが大切だと、私は思いました。